

会津大学短期大学部

×

会津若松市河東地域

成澤ゼミ

1. チームについて

会津短大 成澤ゼミ
(産業情報学科
経営情報コース 2年 6名)



- ☑ フィールドワークを通し、地域課題を掘り起こし、その解決に向けた方策を検討
- ☑ 住民の方々とのふれあいを通じて、身近な地域の魅力を再発見し、主体的なアクションにつなげたい

2. 河東地域のイメージと実際

(H17年に会津若松市と合併した旧河東町、53集落)

●活動前のイメージ

- ☑ 米どころで、自然が豊か
- ☑ 農業だけでなく、工業団地があって製造業も盛ん
- ☑ 八葉寺(冬木沢詣り)や皆鶴姫伝説などが有名

●活動を通して分かった実際

- ☑ 歴史的資源は豊富だが、認知度が低い
- ☑ 行事が多く、集落住民のつながりは強い
- ☑ 担い手不足や若者参加の少なさが課題



3. 今年度の活動内容

- ☑ 地域を知る—史跡・集落・企業めぐり
- ☑ 住民活動に参加—サロン、収穫祭、皆鶴姫まつり、文化産業祭
- ☑ 若い世代に聞き取り—農家、神楽保存会、外国人移住者など
- ☑ 河東地域づくり委員会との意見交換



4. 活動により発見した課題、活かすべきこと

●課題

- ☑ 産業や住民活動を支える担い手不足（若者・中年層の減少）
- ☑ 地域イベントへの参加も、高齢者中心になりがち
- ☑ 農家は、六次産業化に関心あるが手が回らない

●強み

- ☑ 地域の特産品、とくに米
- ☑ 地域イベントの開催が盛ん
- ☑ 伝説をもとに誕生したご当地キャラ



5. 課題解決のための提案

提案

河東地域の特産品を活かした名物料理の開発と普及
(ご当地キャラ皆鶴姫を活かしたプロモーション事業)

- ・ 米(餅や米粉も含む)を使ったレシピ提案
- ・ プロの料理家と協働で開発
- ・ 開発した料理のふるまいやマルシェ
- ・ 体験型の企画で魅力を発信
- ・ ご当地キャラ皆鶴姫を積極的に活用



6. 今後に向けて

- ☑ 地域が主体となり、継続できるかたちを大切にする
- ☑ 学生は「関わり続ける入口」をつくる存在
- ☑ 食と体験を通じて、河東地域の魅力を発信していきたい

